



大学共同利用機関法人
自然科学研究機構 生理学研究所

国立大学法人 富山大学
和漢医薬学総合研究所

生理学研究所・和漢医薬学総合研究所研究会

平成28年1月14日(木)・15日(金)
自然科学研究機構 生理学研究所

最先端生理学と和漢医薬学との融合

◆1月14日(木)

14:00～14:10

和漢研の紹介 門脇真(和漢研・所長)

14:10～14:20

生理研の紹介 井本敬二(生理研・所長)

14:20～14:50

津田正明(富山大学名誉教授・富山大学長学術顧問)
「BDNF発現誘導機構と和漢薬を用いた認知症予防の試み」

14:50～15:20

渡り英俊(富山大学附属病院・和漢診療科)
「和漢診療の実際」

15:30～16:00

東田道久(和漢研・複合薬物薬理)
「和漢薬の治療概念を基盤とした新たな生体生理機能探索への挑戦」

16:00～16:30

定藤規弘(生理研・心理生理学研究部門)
「「私たち」の脳科学へ向けて 2個体同時計測fMRIによるアプローチ」

16:45～17:15

水野正明(名古屋大学教授:中部先端医療開発円環コンソーシアム)
「革新的医療技術創出拠点としての名古屋大学の取り組み」

17:15～17:45

長谷川宏之(三菱UFJキャピタル・投資第二部・ライフサイエンス室長)
「アカデミア研究成果の出口戦略:ベンチャーキャピタルの立場から」

◆1月15日(金)

9:30～10:00

東田千尋(和漢研・神経機能学)
「脊髄損傷の治療を目指した和漢薬研究」

10:00～10:30

西村幸男(生理研・認知行動発達機構研究部門)
「脊髄損傷からの機能回復戦略」

10:30～11:00

吉村由美子(生理研・視覚情報処理)
「大脳皮質局所神経回路の形成メカニズム」

11:00～11:30

門脇真(和漢研・消化管生理)
「漢方薬成分のインシリコ標的タンパク質探索による
漢方薬の効能リポジショニング」